

2016（H28）年度 第1回苫小牧市美術館協議会

【日時】 2016年7月15日（金） 13時20分～14時15分

【会場】 苫小牧市美術博物館1階研修室A

【出席委員】 日浦委員、林委員、金田委員、居島委員、村井委員、橋爪委員、入江委員
高城委員、坂元委員 計9名

【事務局】 和野教育長、松浦教育部長、荒川館長、武田主査、望月主査、小玉主任学芸員、
宮地主任学芸員、細矢主任学芸員、佐藤（麻）嘱託学芸員

【式次第】

- 1 開会 (進行) 望月主査
- 2 辞令交付 和野教育長
- 3 挨拶 和野教育長
- 4 各自自己紹介
- 5 議事および会議内容

(1) 会長・副会長の選出

仮議長が進行を行う。事務局一任の声があがったため、事務局案通り、会長に日浦委員、副会長に居島委員が選出される。以下、美術博物館規則 第19条第5号に従い、会長が議事進行を行う。

(2) 平成27年度 美術博物館および勇武津資料館事業の報告について

平成27年度美術博物館および勇武津資料館事業について、事務局から説明があった。委員より、勇武津資料館事業「ふるさと探訪」の「植物観察会」「漂着物調査」や、「サイエンスカフェ」についての質問が挙げられた。

「植物観察会」「漂着物調査」については、結果の閲覧や経年の結果記録の有無や、紀要への記載の予定の有無、継続調査についての要望や質問で、事務局からは、「両事業とも経年調査を行ない、今後も継続していきたいと考えている」「オニハマダイコンについては、紀要に何らかの形で今後執筆する予定」という返答があった。

「サイエンスカフェ」については、市内学校の生物・科学部へのアピールと連携や、今後の展開についての質問で、「科学部を持つのが市内学校は東高校のみで、現在は東高校の科学部といろいろ模索している」「中高校生の来館者が少ない点が課題」という返答があった。

(3) 苫小牧市美術博物館自己点検評価について

平成26年度より施行および評価方法について議論を重ねてきた「自己点検評価」について事務局から再度経緯について説明があった。また、平成29年度に本格実施を行うこと、今年11月予定の「平成28年度第2回美術博物館協議会」までに平成27年度事業の1次評価を作成し配付後、2次評価を協議会委員に依頼し、まとめたものを協議会に諮ることを事務局から委員に度報告・確認した。

委員からは、平成29年度の本格実施後の結果の公表の方法や、点検評価の目的、事業への反映などについて質問や、できれば結果は来年度事業に反映させてほしいとの意見が挙げられた。

事務局からは、「協議会の場所で報告・審議すること」「PDCAサイクル（Plan（計画）→ Do（実施）→ Check（見直し・評価）→ Action（改善）の繰り返しによる業務マネジメント）を行い、組織の欠点を見出し、評価をどう改善したか」という点が重要であると回答し、結果を事業へ反映することについて、秋には次年度予算の提出があるため。すぐ次年度へ反映することは難しいかもしれないが、例えば翌々年度の事業へ反映させるなどの努力をする方向を示した。

(4)その他

事務局より「資料収集委員の選出」と「協議会の議事録の公開」について報告があった。

資料収集委員については、苫小牧市美術博物館条例および苫小牧市美術博物館資料収集要綱第7条に基づき、5名以上の委員から構成し任期は2年間、会長が指名することになっており、今年度は新体制なので会長と副会長と事務局で相談し委員の中から指名することを説明し承認を得た。

議事録の公開について、今年度より委員名簿および会議日程、会議の議事録の内容について、会長の承認を得た後にホームページ上で公表を行うことを報告した。

以上。